



馬の学校

馬の学校通信

2005. 9 vol.19

発行 馬の学校

事務局 〒560-0084 大阪府豊中市新千里南町 3-27-26 TEL/FAX : 06-6832-8455

E-mail : mine@dp.u-netsurf.ne.jp ホームページ : http://www.horseschool.org



秋のプログラム 参加者募集!!

ファミリープログラム (日帰り)

日程 : 10月29日 (土) / 11月6日 (日) 午前10時半~午後4時 *小雨決行
 場所 : ホーストレッキングわち (京都府船井郡和知町出野小字カシロ)
 対象 : 幼・小・中・高校生のお子さんとそのご家族 (定員3家族)
 参加費 : 1家族 ¥15,000 / 1回 (現地集合・解散)
 別途 食費 1人 ¥500

馬とのふれあいプログラム (約2時間)

日程 : 10月16日 (日) 午後1時半~3時半 *小雨決行
 場所 : わらしべ乗馬センター (枚方市王仁公園内)
 対象 : 小・中・高校生 (定員4名) *原則として保護者同伴
 参加費 : 1人 ¥8,000 (現地集合・解散)

馬とのふれあいプログラム (約2時間)

日程 : 10月9日 (日) / 11月20日 (日)
 午前10時~12時 *雨天決行
 場所 : 服部緑地乗馬センター (豊中市服部緑地1-5)
 対象 : 小・中・高校生 (定員4名) *原則として保護者同伴
 参加費 : 1人 ¥8,000 / 1回 (現地集合・解散)

*ふれあいプログラムはボランティアがマンツーマンでサポートします

こうまキャンプ (1泊2日)

日程 : 10月22日 (土) ~23日 (日)
 22日午前9時30分 JR京都駅集合
 23日午後4時30分 JR京都駅解散
 場所 : ホーストレッキングわち (京都府船井郡和知町出野小字カシロ)
 対象 : 小学1年生~中学3年生 (定員4名)
 参加費 : 1人 ¥22,000 (JR京都駅集合・解散)
 *マンツーマンでのサポートが必要な場合はご相談ください

★お申し込みは、会員の皆さまは9月11日(日)から、一般の方は13日(火)から、電話・FAX・E-mailで事務局まで!

★定員に達し次第、締め切らせていただきます。

馬と遊ぼう!

長野県のアルプスあづみの公園にて「馬と遊ぼう」プログラムを行います。秋の一日、ウマキャンプでおなじみの小須田牧場の馬たちと一緒に遊びましょう!

日時 : 10月2日 (日) 午前10時~午後4時30分
場所 : 国営アルプスあづみの公園内・河畔の広場

長野県南安曇郡堀金村大字烏川33-4

内容 : 引き馬による乗馬 (800円)
 (ブラシがけ体験・クイズ・蹄鉄プレゼント付)
 ひも馬作り (100円)
 鉛筆立て作り (100円)
 蹄鉄投げゲーム (50円)

定員 : 各100名 (先着順で整理券を配布します)
当日は公園の無料開放日で色々なイベントがあります。詳しくは馬の学校事務局までお問い合わせ下さい。

夏のプログラム 活動報告

ウマキャンプ (7/30~8/2)



馬たちと一緒に記念撮影



大きな馬に乗って走ったよ!

馬と友達になろう (8/13~15)



みんなでブラシがけをしました



「とまれ~!」





「ウマコンテスト」作品募集中!

①作文 400字以上2000字以下 (原稿用紙に手書きかワープロ)

②絵 B4以内の大きさの画用紙を使用・画材は自由

③写真 サービス判(デジタル写真も可)

対象: 子どもから大人まで、どなたでも

賞品: 作文・絵・写真それぞれ優秀な作品1点ずつに、馬グッズをプレゼント(応募者全員に記念品を差し上げます)

応募先: 馬の学校事務局(住所・氏名・年齢・電話番号を明記)

締切り: 2005年10月15日 結果発表: 11月中旬

*応募作品は返却いたしません

応募作品の著作権は馬の学校に帰属します



おすすめのホームページ

『馬文化ひだか』

<http://www.hidaka.pref.hokkaido.jp/hd-tssku/uma>



馬を「知る」「学ぶ」「楽しむ」のコーナーに分かれており、それぞれに充実しています。また「馬用語検索コーナー」もあり、気になる言葉を調べることができます。キッズコーナーはイラスト付で分かりやすく説明されています。

おうまの教室

馬の道具 その3 鞍(くら)

くら しゅるい 鞍にはいろいろな種類があります

馬にのるときに、馬のせなかにつけるものを「鞍(くら)」といいます。また鞍についている、足をかけるところは「鐙(あぶみ)」といいます。



ウエスタン



プリティッシュ



けいしょうあん
軽乗鞍

くら はつめい 鞍はいつ発明されたの?

鞍の原形が生まれたのは紀元前数百年ごろと言われています。最初は馬の背中に直接乗っていたのが、お尻や足が痛くならないように皮や布を敷くようになったのが始まりとのこと。足をかける「鐙(あぶみ)」は最後に作られました。漢字からも分かるように、最初は馬に乗る(登る)ための道具として使われていましたが、次第に、馬の上での姿勢を安定させるものになってきました。

参考資料: 日高路発馬文化情報総合サイト「馬文化ひだか」



編集後記

西日本は史上4位の暑さだったというこの夏、皆さまはどのように過ごされたでしょうか?馬の学校では、ファミリープログラムは残念ながら雨で中止となりましたが、ウマキャンプと室戸少年自然の家でのプログラムを無事に終えることができました。室戸では初めてのプログラムでしたが、思った以上に多くの方が参加してくださいました。また夏休み中には、ホーストレッキングわちにて大阪YMCA国際専門学校・表現コミュニケーション学科の特別プログラムも行いました。当日は最高気温37度!でも馬も生徒達も頑張ってくれて、充実した時間が過ごせたことと思います。これらのプログラムは、より多くの方に馬とのふれあいの楽しさを知ってもらうために、今後とも続けていくことができると考えています。

さて秋は、安曇野でのプログラムからスタート。これまでで最も規模の大きなプログラムとなりますので、ドキドキワクワクですが、たくさんの方に楽しんでもらえるよう頑張ります! (峯崎 友香理)